

## カシオペアしごとメッセ初参加

10月23日、「なにやーと」において、二戸管内の高校の1、2年生を対象とした企業紹介「カシオペアしごとメッセ」が開催され、当社も参加させていただきました。

受付正面の絶好のポジションにブースを頂き、やる気満々で待ち受けていましたが、生徒さん達の人気は「電子部品」「食品製造」「介護」のようで、あらためて職業認知度の低い業種なのだと考えさせられました。それでも、2、3巡目あたりからぼつぼつと立ち寄ってくれる人が増え始め、100枚準備した会社紹介DVDも30枚ほど渡すことができ、身の回りに碎石がたくさんあることを理解して頂く事ができました。

昭和の時代、新卒就職者は「金の卵」と呼ばれていました。少子化の中で就業者人口が減少する現代、まさに「金の卵」が、地元で働く楽しみや充実感を得られる会社を目指していきたいものです。



ジオラマ展示、コンクリート製作実演、DVD放映を行いました



会社の概要をDVDにまとめました



コンクリートの7割は骨材です



全体説明会 行儀のいい生徒さん達でした



女子生徒さん達も興味を示してくれました



いつつ星会は施設とオンラインで結び、生の仕事を実感してもらっていました



## ～ これからが正念場 ～

北海道や青森でコロナの感染が増えてきているようだ。クラスターが発生すれば数日で100人を超える感染者が報告され中には亡くなる方も。医療の現場は本当に大変だと思う。これからインフルエンザも流行の時期となり風邪症状は、まずコロナを疑ってかからなければならない。外出など控え感染予防を気にしながらの生活は、もう既に8ヶ月ほどになり精神的にもキツイ。だが、医療や介護従事者は職業として、その真ただ中におり気の休まる時もないだろう。エッセンシャルワーカーと呼ばれる医療介護などの従事者が居なければ世の中はどうなっていたであろう。コロナ禍を戦時中とたとえると、エッセンシャルワーカーは最前線で戦う兵士と同じではないか。その兵士に対して心より感謝し、そして私たちができる一番の貢献は、自身が感染しないことで医療の手を煩わせないことだ。

冬に向けてこれからがいよいよ正念場！今一度感染予防には細心の注意を払い生活をしなければならない。



## ～目からウロコ～



骨材の規格の中で、最初に挙げられるのが粒径（粒の大きさ）と粒度（粒のそろい方）である。粒径と粒度を調整するために選別機械を用いる。選別機械には選別する原料に応じていろいろな種類があるが、原理は網で篩う、空気で吹き飛ばす、水で洗い流すという方法が代表的である。これまで網で篩う方式は網を張った本体全体を振動させる方式がほとんどであった。台所で小麦粉を篩う要領である。この方式は、粒径が小さかったり、水分が多かったりするとてきめんに効率が悪くなる。この問題を解消した選別機械が大船渡で稼働しているということで、見学させていただいた。それは、篩本体は固定で、網を直接高周波のバイブレーターで振動させる機械である。「おお！なんと」目からウロコ、発想の転換。歯ブラシ全体を手で動かさず、ブラシ部分だけを動かせば望みの周波数や振幅が得られるのだ。この機械、かなり前からあったそうで、世界で数百台が稼働しているとのこと。知らなかった。



朝晩冷え込むようになってきた。まもなく雪の季節。犬は喜んで庭を駆け巡るのだが、我々猫は無駄なカロリーの浪費はしない。僕の会社にはコタツはないので、ファンヒーターの上で丸まっている。適度に暖かくて気持ちよく寝ることができる。会社の人たちはぬくぬくと暖かいところで寝ている訳にはいかないようで、そわそわしながらタイヤを転がしたりしている。なんでも前もっての準備は大事なようだ。



## 今月の一言 「転ばぬ先の杖」

### 編集後記

今年の岩手県の紅葉は例年に比べてきれいだったような気がしますね？それとも今年はコロナの影響で私生活がのんびりしていたせいで紅葉を味わっていたのかな。

・・・いや歳のせいかな(笑)

